表現学科　専門教育科目 体系図

科目群の学習・到達目標	1年 前学期	1年 後学期	2年 前学期	2年 後学期	3年 前学期	3年 後学期	4年 前学期	4年 後学期
■表現の基礎理論および学習法について理解する ・表現学科の学問分野について理解したうえで、４年間の学習目標を明確にします。	表現文化入門 2							
■表現の基盤となる「言語」の体系について学ぶ ・日本語における言語表現の多様性を理解した上で、自分の意見を効果的に伝える口頭表現について考察します。 ・言語学の歴史を理解したうえで、日本語の本質や構造、特長について理解します。 ・言語を社会との関わりで捉え、様々な社会的要因や属性にいかに影響を受けるかを考察します。		言語表現論 2	言語学概論 2	社会言語学 2				
■さまざまな分野の「創作表現」の理論や表現手法を学ぶ ・口承文芸から文字表現へ、文芸形式の変遷を理解すると同時に、文学作品を分析・批評する手法を学びます。 ・文章表現の基礎を理解し、正確な文章、心を動かす文章の記述や表現方法を学びます。 ・修辞学や詩学など文芸的な著述の規範について学び、古典から現代へいかに受け継がれているかを考察します。 ・デジタル技術の発展により、表現手法やメディアがいかに変化を遂げているかを考察します。 ・表現したいイメージを身体でいかに表現するか、理論と実践で学びます。	創作表現論 2	文章表現論 2	文芸表現論 ② メディア表現論 ② 現代表現論 ②					
■演習形式で「文章表現」と「演劇表現」の基礎を学ぶ ・演習形式の授業により、創作のための文章表現の基礎的な知識と技能を身につけます。 ・演習形式の演技の授業により、言語表現と身体表現の連動、さらにはチームワークを生かしての創作表現を学びます。	創作表現技法Ⅰ(文章) 4 創作表現技法Ⅰ(演技) 4	創作表現技法Ⅱ(文章) 4 創作表現技法Ⅱ(演技) 4						
■文芸表現の基礎を学ぶ ・名作や人気小説の中の描写を題材に、心理描写、人物描写、情景描写などの技法を学び、短文の創作を行います。 ・テーマ設定やプロット作成など、小説を書くうえでの基本的な流れに沿って短編小説を完成させ、実践的な技法を学びます。 ・文芸作品の論評と評価に関する基礎的な知識と方法を学び、作品を多角的に鑑賞・論考する力を身につけます。 ・書籍・雑誌・Webなどの原稿書式やタイトルの付け方について学び、媒体や企画に応じた適切な原稿制作に取り組みます。			文芸作品研究Ⅰ(創作の表現) ② 文芸作品研究Ⅱ(小説の技法) ② 文芸作品研究Ⅲ(論評と評価) ②	文芸作品研究Ⅳ(執筆の技法) ②				
■文芸表現の完成度を高めるための知識や技術を演習を通して習得する ・日本の古典文学から現代社会を捉え、時代を越える普遍的なテーマについて思索を深めます。 ・多様なノンフィクション作品を題材に、社会・時代・人間の変化について洞察します。 ・海外文学作品を読み、作品が書かれた背景や多様な国・文化の理解を深めます。 ・日常の中の小さなドラマに着目し、歌詞、ミニドラマ、エッセイなど複数の表現形態による創作に取り組みます。 ・場所や人を軸にしたテーマを設定し、情報収集や取材を重ねたうえで、事実にもとづく取材記事を完成させます。 ・「書く」仕事の実際や文芸ジャンルの現状について理解を深めながら、執筆した作品の発表と講評を行い、文芸創作を実践的に学びます。				表現文化研究Ⅰ(文芸表現) ④ 表現文化研究Ⅱ(文芸表現) ④	表現文化研究Ⅲ(文芸表現) ④ 表現文化研究Ⅳ(文芸表現) ④ 表現文化研究Ⅴ(創作表現) ④ 表現文化研究Ⅵ(創作表現) ④ 表現文化研究Ⅶ(創作表現) ④	表現文化研究Ⅷ(創作表現) ④	

科目群の学習・到達目標	1年 前学期	1年 後学期	2年 前学期	2年 後学期	3年 前学期	3年 後学期	4年 前学期	4年 後学期
■紙媒体やWebメディアにおける編集表現と広告表現の基礎を学ぶ ・編集の基本となる企画の立て方、デザインの基礎知識を身につけます。 ・ホームページやソーシャル・メディアなどインターネット編集の基礎理論と最新動向を学びます。 ・広告におけるコミュニケーションデザインの理論、ならびに広告クリエイティブの基礎知識を身につけます。 ・書籍、雑誌、Webメディアの出版を、編集の視点、また出版ビジネスの視点から学びます。			編集文化研究Ⅰ（文字と画像）②					
			編集文化研究Ⅱ（視覚と伝達）②					
			編集文化研究Ⅲ（広告の技法）②					
				編集文化研究Ⅳ（出版の技法）②				
■紙媒体やWebメディアの編集表現、広告表現について演習を通して習得する ・各メディアの特性と視覚効果について理解を深め、記事や広告の制作に取り組みます。 ・エディトリアルデザインやWebサイト制作について、演習を通して学びます。 ・出版物やデジタルコンテンツの企画・制作の流れを理解したうえで、実践的な演習を通して編集力を身につけます。				表現文化研究Ⅰ（視覚表現）④				
				表現文化研究Ⅱ（視覚表現）④	表現文化研究Ⅲ（視覚表現）④			
					表現文化研究Ⅳ（視覚表現）④			
					表現文化研究Ⅴ（制作表現）④	表現文化研究Ⅵ（制作表現）④	表現文化研究Ⅷ（制作表現）④	
						表現文化研究Ⅶ（制作表現）④		
■声による表現、また放送番組づくりの基礎を学ぶ ・分かりやすく正しい日本語の発音技術を身につけ、ニュース原稿を読んだり、自分の言葉で実況レポートしたりする基礎を学びます。 ・番組がどのように制作されるかを学び、映像表現の基本を身につけます。			放送文化研究Ⅰ（発声と発音）②					
			放送文化研究Ⅱ（文章を読む）②					
			放送文化研究Ⅲ（言葉で話す）②					
				放送文化研究Ⅳ（映像の技法）②				
■番組制作、SNS表現、音声表現を演習を通して習得する ・情報素材を集めてポイントを見極め、映像表現や音声表現によって伝える理論と技術を学びます。 ・番組制作の企画から制作まで、演習を通して知識と技術を学びます。				表現文化研究Ⅰ（放送表現）④	表現文化研究Ⅲ（放送表現）④			
				表現文化研究Ⅱ（放送表現）④	表現文化研究Ⅳ（放送表現）④			
					表現文化研究Ⅴ（映像表現）④	表現文化研究Ⅵ（映像表現）④	表現文化研究Ⅷ（映像表現）④	
						表現文化研究Ⅶ（映像表現）④		
■メディアの歴史的変遷と社会に与える影響を学ぶ ・新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、Webメディア、SNSなど、各メディアの歴史的変遷と文化的意義、また社会に及ぼす影響力と社会的責任を講義形式で学びます。			編集文化論 ②	出版文化論 ②	新聞文化論 ②	広告文化論 ②		
			映像文化論 ②	放送文化論 ②		報道文化論 ②		
				雑誌文化論 ②		メディア産業論 ②		
■専門分野における実践的な調査方法や分析手法を身につける ・表現分野の研究における文献調査、資料分析、現地調査などの方法について実践的に学び、研究活動能力の向上を目指します。	表現文化専門演習Ⅰ 1		表現文化専門演習Ⅱ 1	表現文化専門演習Ⅲ 1				
■研究課題を設定し、創造的かつ意義のある研究成果として発表する ・表現学の分野において、グループや個人で研究課題や創作テーマを設定し、今までに学んだ知識・技能を組み合わせた演習を行います。 ・専門課程で学んだことの集大成となる研究課題を各自が設定し、卒業研究（論文もしくは制作）に取り組みます。					表現文化専門演習Ⅳ 1	表現文化専門演習Ⅴ 1		
							表現文化専門演習Ⅵ 1	表現文化専門演習Ⅶ 1

※表中の数字は単位数を表し、1 は必修科目、① は選択科目です。